

神奈川県最低賃金審議会 会長 赤羽 淳 様
神奈川県労働局 局長 児屋野 文男 様

意見書

日頃より我々労働者の労働環境改善向け、ご配慮とご尽力を賜り深く感謝しております。私達は港湾運送事業にかかわって海貨業を生業とし、幅広く貿易にかかわる仕事をしている労働者です。海外にも子会社や協力会社がある状況で、海外と日本の賃金格差が深刻な問題となっています。また、最低賃金の低さが平均賃金に影響を与え、賃金格差が日本企業の競争力を弱め、人手不足を招いていることはあきらかです。港湾利用者に正当な価格転嫁を求めるためには、全国かつ大幅な最低賃金の引き上げが不可欠と感じています。日本の国内総生産を上げ、企業の国際競争力を強くするうえでも最低賃金を引き上げることが重要だと考えます。

日本の平均賃金は 30 年前を下回り、同時に経済成長も止まっています。2023～2025 年の春闘ではご承知の通り、政労使がそろって低すぎる賃金が日本経済の停滞を招いていると訴え、賃金の引き上げに尽力してきました。今こそ、最低賃金を大きく引き上げ、日本経済を前に進めるべく、以下について意見を述べさせていただきたく要望します。

— 記 —

1. 神奈川県最低賃金時間額を「今すぐ時間額 1500 円以上」にしてください。
2. 輸出入を行う上で賃金は国際競争力に直結しています。日本の競争相手となる海外の最低賃金なども参考にした上で、地方ごとの最賃額の是正や、全国一律最低賃金制度について議論していただき、関係機関に意見を具申してください。
3. 賃金上昇分の価格転嫁の実現をはかる施策の実行や、社会保険料の軽減など中小企業支援策の抜本的強化の実施について、国や関係機関に意見を具申してください。



2025 年 7 月 16 日

京浜港運海貨物流労組協議会
議長 長 島 将 貴